

議会だより

白山市

2016.8

vol. 45

CONTENTS

議会
報告会

②… 学生と未来を語る！(金城大学社会福祉学科)

- ⑤… 6月会議
- ⑥… 一般質問
- ⑨… アンケートの集計結果
- ⑩… 常任委員会レポート
- ⑪… 特別委員会の報告
- ⑫… 議会活動あれこれ



作者／野畑 桃花さん

学生と未来を



5月31日に広報広聴委員会委員6名が金城大学におじゃまして、社会福祉学科28名の学生と議会報告会を兼ねて「いいね白山市、がんばれ白山市」と「5年後のわたし」をテーマに意見交換会を行いました。

今回の取り組みは、選挙権の18歳までの引き下げや若者の声を聞き、議会や政治に関心を持ってもらうために行いました。

当日は、参加した学生を4つのグループに分け、広報広聴委員会委員が加わるグループ討議方式で実施し、将来を担う学生たちの気持ちを身近に感じました。

意見交換会を通じて出た意見は、6月会議中に各常任委員会が執行部に現状の確認を行いながら協議しました。

学生

LEDの信号機は雪が凍りついてわかりにくいときがある。

委員会での協議

着雪対策のためアクリルカバーの装着や信号表示板の角度の変更など行っている。今後も関係機関と連携して交通環境の維持を図っていく。

学生

現在、奨学金を借りて授業料を支払っているが、将来返すことができるか心配である。

委員会での協議

文部科学省は2017年度の予算要求に関連予算を盛り込む方針であり、国の動向を注視したい。

学生

午後4時から6時までの間にJR加賀笠間駅に停車する電車が少なく、学生のニーズに応じた運行時間にしてほしい。さらに、駅の待合室は夏は暑く、冬は寒いので空調設備を設置してほしい。また、多くの障害者や高齢者も利用しているにも関わらずエレベーターが設置されていないので、バリアフリー化を推進してほしい。

委員会での協議

JRからは特急電車の通過待ちの関係もあり増便は難しいとの答えをもらっている。路線バスやコミュニティバス、大学のシャトルバスを利用してほしい。



語る!

学生

大学周辺は街灯等が少なく、夜は不審者情報があるので防犯灯の整備や警察官の巡回をお願いしたい。

委員会での協議

市防犯協会では一戸一灯運動に取り組んでおり、宮保、笠間支部をはじめ市内全域に取り組みの協力をお願いする。警察署へはパトロール強化を要望した。



学生

介護職や保育士の賃金をアップしてほしい。また、賃金の問題から一般企業への就職を考えている。

委員会での協議

事業所への実施指導や監査の際に職員の給与の適正化を帳簿等で確認し、国へ財源措置等を要望していく。



学生

産休・育休の取得を含め仕事と子育ての両立に不安を感じている。

委員会での協議

国の動向を注視し、保育士の働きやすい職場環境づくりに努めていく。

学生

白山市は豊かな自然に恵まれているので、自然を生かしたレジャー施設を整備してほしい。

委員会での協議

現在ある施設を幅広く周知し、利用促進を図っていく。

学生

白山市内での就職を希望しているが、希望する就職先がないので、金沢市などで就職せざるを得ない。

委員会での協議

就職を希望する学生を対象に合同就職説明会を実施しているので、意欲的に参加してほしい。

学生

金城大学周辺にショッピングセンターやコンビニなどのお店が少なく不便である。

委員会での協議

周辺の土地は用途制限があるため難しいが、地域住民、地権者、関係団体および大学と連携したまちづくりを考える必要がある。

学生

夜間に自転車で松任駅方面に行くときに街灯等が少なく暗いので、安全な自転車道の整備をお願いしたい。

委員会での協議

県に対し改良工事に合わせて交差点等の照明の設置をお願いしている。現状を確認して防犯灯の設置を検討していく。

★参加してよかった(アンケートより)



問1 議会報告会に参加してどうでしたか。

よかった	普通	よくない	未回答	計
23	4	0	1	28

(人)

問2 今後、議会報告会があれば参加したいと思いますか。

参加したい	わからない	参加したくない	未回答	計
18	9	0	1	28

(人)

問3 議会だよりを読んだことがありますか。

ある	ない	未回答	計
0	27	1	28

(人)

アンケートでの主な意見

- ・今回の意見がどう反映されるかが気になる。
- ・議員さんと実際に話し合っ、コミュニケーションがとれて白山市のことを知れてよかった。
- ・議会にはあまり関心がなかったが、興味を持つきっかけになりました。
- ・議員と市民が直接会って、意見を出し合うことで、市がよりよい方向へ進んでいくのだと思いました。
- ・改めて白山市の町なかの不便なところや良いところに注目して生活していこうと思った。
- ・自分の不安に対しさまざまなアドバイスをいただいて参考になった。
- ・議員さんが私たちの話にしっかりと耳を傾けてくれて、自分が思っていることを素直に話すことができました。

参加学生の感想



おおたき まり
大瀧 茉莉さん
(日御子町)

報告会を終えて

議員の方々と話すこと自体初めてで、緊張していたのですが、たくさんの意見が飛び交う楽しい報告会でした。

話し合いの中では、特に公共設備についての意見が多く、よりよい白山市にしたいという私たち学生の思いや考えを聞いていただきました。

今回の報告会を通して政治を身近に感じることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

これを機に、もっと政治に関心を持ち、よりよい白山市について考えていきたいと思います。

より良い町を目指す白山市

今回、白山市をより良い町にするため白山市議会議員の方たちと話し合いをした。

そもそも市議会議員とは何をしているのか知らなかったが、白山市をもっと住みやすくするために日々活動していることがわかった。

意見交換をしていく中で笠間町にコンビニやスーパーを増やしてほしい、街灯が少なく学校から駅まで歩くのが怖いなど、笠間町について主な話し合いが行われた。

議員の方に学生から見た白山市についての印象を伝えることができたと思う。

今後もこのような機会があれば参加し、自分たちで住みやすい町を作りたい。



すぎもり ひさゆき
杉森 久晋さん
(徳丸町)

6月会議
6月6日(月) ~ 24日(金)

6億2474万9000円の 一般会計補正予算の審査を行いました。



道路構造物定期点検業務の内容は。

議員
国の指針に基づき5年に1回実施している。2m以上の橋梁839橋等について、平成27年度から4カ年で点検することになっている。点検の方法は、今回はさびの状況の目視やたたくなどしてABCのランクをつける。これまでの点検では緊急に補修を要するものはなかった。



市



道の駅の駅長候補選定にあたっての審査は。

議員
小論文をはじめ、面接では道の駅に対する思いや計画性などを聴取し、経歴や人間性など総合的に判断して選定した。



市



経済センサス活動調査はどのようにするのか。

議員
市民に調査員を依頼し、全事業所を訪問して6月1日現在で調査票を記入するもの。



市



コミュニティ助成事業は1自治体でどれだけの申請が可能か。

議員
コミュニティセンターの助成は各自治体1件の申請となっており、県内では最高で3件程度、少ない時は2件程度の助成となっている。一般コミュニティ助成事業の方は今回2件ある。申請は何件でも可能だが、県からは優先順位をつけるよう依頼されている。事業に対する金額的な要件はない。



市



タニタ連携「健康寿命延伸のまちづくり事業」で募集する市民300人の、性別・年齢区分はどうか。また、キッチンカーはタニタから借りるのか。

議員
事業については幅広い年齢層の市民参加を期待しているため、性別・年齢での区分はしない。キッチンカーは購入する予定。



市



新たな地域密着型サービス施設の事業者として、ケア・トラストが選定された理由は。

議員
地域密着型サービスへの取り組みや考え方、認知症高齢者に対する関わり方については、経験だけでなく独自の研修などで職員の資質向上に取り組んでいる。ケアスクールの実施で介護職の人材育成にも取り組んでいることなど、他の応募事業所と比べ優位であり選定した。



市

国の
関係機関へ
提出



意見書

- 介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書 (提出者 藤田政樹)
- 介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書 (提出者 小川義昭)
- 教育予算の拡充を求める意見書 (提出者 山口俊哉)

一 般 質 問

市の事業などについて、議員が主張・提言・指摘を行います。
質問時間は1議員30分以内です。

6月会議の一般質問は、6月13日、14日の2日間にわたり行われました。

13日の質問議員

宮中 郁恵 議員	6 ページ
小川 義昭 議員	6 ページ
吉本 史宏 議員	7 ページ
宮岸 美苗 議員	7 ページ
安実 隆直 議員	7 ページ
中西 恵造 議員	7 ページ
寺越 和洋 議員	8 ページ

一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

市ホームページで議会録画映像の配信や、「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になることができます。

14日の質問議員

清水 芳文 議員	8 ページ
永井 徹史 議員	8 ページ
山口 俊哉 議員	8 ページ
藤田 政樹 議員	9 ページ



<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/>



宮中郁恵 議員

Q 高齢者の介護支援ボランティア制度の導入を

A 導入に向け、3月より住民主体のサービス等を推進

質問 導入に向けての課題と現状は。

答え 平成26年度から介護予防および生活支援サポーター養成講座を開催。講座修了者60人の内、38人が65歳以上の高齢者である。ポイント制度の導入は困難である。3月から開始の介護予防日常生活支援総合事業で、住民主体の多様なサービスや空き家等を活用して、住民が気軽に集まれるサロン等の創設を推進する。元気な高齢者がボランティア活動できる仕組みを構築、支援策も検討。

他の質問 多胎妊婦の健診拡大、ジェネリック差額通知効果、インバウンド観光ビジョン



小川義昭 議員

Q 災害時の非常食にアレルギー対応食品の備蓄を

A 一定量のアレルギー対応食品の導入を図る

質問 被災直後の避難所ではアレルギーを持っている方などが食事の支給を受けながら、口にできない事案もあったと聞く。食は身体だけではなく、心にも栄養を与えるものである。最近はアレルゲンを一切使用せず、常温でも食べられる優れた備蓄食品が開発されており、ぜひ備蓄食品として導入すべき。

答え 従来の備蓄食品はアレルギー対応ではないので、今後の配備計画を策定するに当たり、一定量のアレルギー対応食品の導入、確保を図る。

他の質問 市総合計画の副読本、海岸林の再生、辰巳町火災の検証、防火対策など



吉本史宏 議員

Q 学校の地域開放ゾーンの地域での利用状況は

A 体育館以外の利用は少ない

質問 新しく建設された学校では、地域開放ゾーンを設け、複合施設としての運用もされているがそれぞれの地域での利用状況は。

答え 地域開放ゾーンは、蕪城、松南、美川、朝日、明光の各小学校と白嶺小中学校の6校で体育館、ランチルーム、和室等を地域の皆様に開放している。平成27年度は6校で約2,300回、延べ12万3,000人を超える多くの方に利用いただいているが、体育館以外の利用についてはまだまだ少ない状況である。

他の質問 職員の研修と人事評価、街灯の整備、ふるさと納税、新地方公会計制度



宮岸美苗 議員

Q 「子どもの貧困」の実態調査を

A 面談で聞き取り実態の把握に努める

質問 年々増加している「子どもの貧困」に対して、対策の具体化と計画、実態調査が必要では。

答え 子どもの将来が生まれ育った環境で左右されることのないよう対策をとることが重要。ひとり親家庭だけでなく、低所得者世帯等の実態把握も必要と考えている。市の関係各課と連携・情報共有して計画の必要性も検討したい。また、ひとり親家庭を中心に児童扶養手当の対象者等に、生活・教育・保護者の就労状況などを面談で聞き取り実態把握に努めたい。

他の質問 若い世代の市政参加、地下水揚水と影響調査、住宅施策の充実と家賃補助など



安実隆直 議員

Q 白山市の玄関口としてにぎわいを創出する具体策は

A 早い時期に協議会を立ち上げ地域を盛り上げていく

質問 松任駅南地区のにぎわい創出のためには、地元の話をも十分に聞き継続的に連携を取り、協議会等の機能強化・充実を図るべき。民間活力を生かし工夫を重ね、白山市の玄関口にふさわしいまちづくりを。

答え 回遊性の向上を図るため、駅前に公共・文化施設の案内看板設置を含め、商店街までの誘導を検討したい。地元商店街や町内会に参画を呼びかけ、新たな協議会を立ち上げ、松任駅南地区のさらなるにぎわい創出の事業展開を協議し、できるものから実施する。

他の質問 農地の開発行為、市内県立高校との連携、男性職員の育児休業等の取得推進



中西恵造 議員

Q 白山海岸の荒廃した松林を再生する姿はあるのか

A 町内会、ボランティア、学校等と協力し取り組みたい

質問 町内会やボランティア団体の力が発揮しやすいよう、苗や育成資材の提供などをして事を進める姿が大切。また、次世代を担う子供たちに森林環境の育成を通じた環境教育の取り組みを。

答え 松の成長は遅いが、これこそ次代へつなげる贈り物。しっかりとボランティア体制を後押ししたい。また、県と協議し対応を早急に図る。海岸林の学習は十分とは言えず、今後一層の充実に向け環境学習の推進を周知したい。

他の質問 漁港とポート係留地を一体化し、海から直接入港できる港の建設を



寺越和洋 議員

Q 高橋川改修事業の曾谷、坂尻、小柳町の今後の計画は

A 三市が一体となり事業採択を要望していく

質問 高橋川改修事業の第3期改修区間は、近い将来に事業が完了するが、上流部(曾谷町、坂尻町、小柳町)の第4期改修事業区間の新たな改修期成同盟会設立と改修計画は。また、月橋町地内の月橋大谷川から高橋川放水路へのバイパス工事の要望の現状は。

答え 金沢市・野々市市・白山市が一体となって、上流部の事業採択を要望していく。月橋大谷川バイパス工事は、第4期事業採択にあわせ早期着手を国・県へ要望していく。

他の質問 国道157号沿いの除草、地理的表示保護制度、白山開山1300年事業



清水芳文 議員

Q 白山市の業務継続計画「BCP」の策定を

A 本年度中に策定したい

質問 国は、阪神・淡路大震災や新潟中越地震の反省を踏まえ、全国の自治体に業務継続計画「BCP」の策定を求めている。白山市の策定を早急に求める。

答え 災害時に行政業務が滞ることのないよう、本庁舎が使用できなくなった場合の代替拠点の確保、重要な行政データのバックアップ体制や職員の参集体制など、さまざまな課題を整理した上で、本年度中に策定をしていきたい。

他の質問 木密地域の防災、災害協定の拡充、防災士の役割、ドローンの活用など



永井徹史 議員

Q 白山ろくの通信・放送網は途絶える危険性がある

A ネットワークの多重化等の対策は非常に重要

質問 白山ろく地域住民に対するテレビ放送やインターネット環境を提供するためのセンター機器が老朽化し、2年後には保守サービスも終了する。機器更新経費を中期財政計画に計上すべきでは。

答え 通信・放送用センター機器を設置している建物は大規模災害時には崩壊の危険性がある。また同機器も経年劣化により今後更新していく必要がある。今後課題を精査し、中期財政計画に全体経費を計上したい。

他の質問 白山開山1300年、情報通信基盤の強化、白山ろくの活性化など



山口俊哉 議員

Q 道の駅(仮称)白山に見応えのあるジオラマの設置を

A ジオラマ等の設置は誘客につながるよう整備したい

質問 白山市勤労者協議会で視察した「敦賀赤れんが」のジオラマのように、集客の望める見応えのあるジオラマを専門家の意見を聞きながら、道の駅(仮称)白山に設置しては。

答え 鉄道ジオラマの設置は、鉄道のまち・白山市の発信や誘客につながる有効な手段の一つである。具体的な内容は検討中だが、ジオラマなどの設置の際は、施設展示に精通した専門家の意見を聞きながら、誘客につながる施設となるように整備していきたい。

他の質問 ホランティアセンター、成年後見制度、運動会の組み体操、全国学力状況調査



藤田政樹 議員

Q 手話言語条例を制定する必要があるのでは

A 市は手話言語条例も視野に入れていきたい

質問 手話を言語だと明確に認めた上で、差別解消法とは別に、ろうあ者が生活の基礎を上げるために、手話言語条例を制定する必要があると思うが。

答え 市では、(仮称)白山市共生のまちづくり条例の制定を目指しており、その条例ができた後、市は手話言語条例も視野に入れていきたいと考えている。

他の質問 本市の防災、準防火地域の火災、混迷する新野球場問題

新たに設置された特別委員会を紹介します

(○委員長、○副委員長)

情報通信特別委員会

情報通信端末の利活用に関することを審議します。

- 小川義昭
- 清水芳文
- 山口俊哉
- 安実隆直
- 吉本史宏
- 永井徹史
- 石地宜一
- 安田竹司
- 北嶋章光
- 宮中郁恵
- 宮岸美苗
- 岡本克行
- 寺越和洋
- 吉田郁夫
- 竹田伸弘
- 前多喜良
- 藤田政樹
- 西川寿夫
- 中西恵造

アンケートの集計結果

★貴重なご意見 ありがとうございます★

議会だより44号で実施した、アンケート結果をまとめましたのでお知らせします。お寄せいただいた貴重なご意見は、これからの議会だよりの作成や議会運営に生かしていきます。

- | | | |
|---|---|---|
| 問1 議会だよりを読んでいますか
○毎回読んでいる…………… 90%
○無回答…………… 10% | 問2 表紙のイラストは
○良かった…………… 80%
○普通…………… 10%
○無回答…………… 10% | 問3 予算審議の内容は
○良い…………… 20%
○普通…………… 70%
○面白くない…………… 10% |
| 問4 一般質問の字数は
○少ない…………… 40%
○ちょうど良い…………… 60% | 問5 委員会レポートは
○良い…………… 30%
○普通…………… 40%
○面白くない…………… 30% | 問6 議会報告会について、参加したことがありますか
○ある…………… 50%
○ない…………… 50% |
| 問7 議会報告会について、興味がありますか
○ある…………… 50%
○ない…………… 30%
○無回答…………… 20% | | |

いろんなご意見をお書きください(主なご意見)

- ★リニューアル後の紙面構成は読みやすくなった。
- ★議員の氏名に振り仮名を付けてください。人名については簡単に読めると思えても振り仮名をお願いします。
- ★議会だよりの予算を増額して、ページを増やして内容を充実させてください。
- ★私は賛成・反対しましたの「反対」の理由が少しでもわかればと思う。
- ★議会を傍聴したいが、他自治体にあるような日曜議会の制度がないためできません。年に数度でよいので日曜議会を実施してください。
- ★あさがおTVで議会中継が放送されています。傍聴に行けない市民にとって議会を知る大切な放送です。この議会だよりに放送日、放送時間の案内を載せてください。

常任委員会レポート

総務企画 ▶ 第2次白山市総合計画策定

★第2次白山市総合計画策定スケジュール

- 質問** 高校生・大学生の参加は。
- 答え** 9月頃、大学生と高校生を対象としたワークショップを開催する。
- 質問** パブリックコメントについて、どのように考えているのか。
- 答え** 5月に実施した基本構想についてのパブリックコメントでは意見は1件だけだった。市民の皆さんに周知するために、8月の広報に基本構想についてお知らせし、10月の広報に基本計画(素案)をのせ、基本計画(素案)のパブリックコメントを行いたい。ホームページにも載せる予定。
- 質問** 市はいろいろな手立てをとって意見を吸い上げ、周知の努力が必要では。
- 答え** 周知に努めたい。



市民が参加した市民フォーラム

★手取川上流大汝国有林崩壊地対策工事

- 質問** 緑化工について、どんな種が入っているか心配だという声があった。
- 答え** 今回はほぼヤナギと聞いている。
- 質問** しっかりと周知してほしい。
- 答え** ホームページへの掲載や、工事の開始時に周知できるようにしたい。

産業建設 ▶ 白山市水道事業基本計画(白山市水道ビジョン)



安全で安心な飲料水の供給を図る(西南部地区簡易水道配水場)

★民営簡易水道等統合基本計画

- 質問** 配水区に分けて進めていくと思うが、すぐにでも上水道につなげたいと希望があった場合、何年後に設置されるのか。また、集落内の既存の管も整備することになるのか。
- 答え** 7月のアンケート調査を見て急いでいる所から前倒しで計画を進めたい。幹線ルートは新たなものを作るが、支線については既存管につなぐことを考えている。

★白山市農業委員会の新制度への移行

- 質問** 現在の選挙委員20名は選挙で地区から出てきたが、今後、議会の承認を得て市長が任命することになると、地域間の協議はどのように図っていくのか。
- 答え** 基準上では全域からの推薦になり、公募を開始するまでに現在の農業委員等の意見を聞き、農業委員と農地利用最適化推進委員を合わせ、現在の人数になるよう今後検討したい。

★手取川の濁水の影響は

- 質問** 昨年は手取川の濁水でいろいろあったが、今年の農林水産業関係での苦情や問い合わせは。今後崩落しないと限らないため、対策工事の進捗をチェックし国に働きかけてほしい。
- 答え** JAや県石川農林にも確認しているが、現在のところ苦情は聞いていない。林野庁に出向いて、崩壊地の対策をしっかりと対応していただくよう要望する。

文教福祉

タニタ連携「健康寿命延伸のまちづくり事業」

★はくさんタニタ健康倶楽部会員の募集

質問 募集人員は300名程度とあるが、その人数で募集を締め切るのか。

答え 本年度の事業の中で、適切に会員の健康管理ができる人数として想定したもので来年4月以降も応募があると予測しており、800人の会員数にも対応できるようにしたい。

★「食育キッチンカー」導入による食育・地産地消の推進

質問 地産地消課とも連携して事業を進めて行くのか。

答え キッチンカーの活用で地産地消の推進を図るとともにタニタ監修メニューやスイーツなどを試食してもらうために巡回させる。



導入予定のキッチンカーのイメージ

★市内の体育施設についての要望

質問 スポーツ振興の観点から市に寄せられている体育施設の要望は。

答え 要望は毎年いただいております。制約の中でできる限り応えている。不都合がないよう安全面を考慮し対応している。

特別委員会の報告

観光交通特別委員会 (委員長 安田竹司)

主な
報告内容



観光対策

「鉄道のまち白山市」を推進すること。さらに白山総合車両所の通年見学を生かした、観光商品の企画や道の駅（仮称）白山への周遊などに取り組むこと。

白山開山1300年の記念事業の発信と、インバウンド対策を強化すること。

交通・誘客対策

観光客の目線に立った整備に努めること。

コミュニティバスのダイヤの最適化、ハブ機能を持たせたバス停の設置を検討すること。

全体を通して

市民が市内の観光資源に触れ、子どもたちが授業等で学ぶ機会など観光資源に対する意識を高揚させ、誇りに思えることが必要で全庁の横断的な取り組み、県や近隣市町、民間団体や市内の大学などとも連携を深めた万全の体制で取り組むこと。

地方創生特別委員会 (委員長 北嶋章光)

主な
報告内容



白山市人ロビジョン

子育てしやすい環境づくり。また、仕事をしながら安心して出産、子育てができるよう雇用の推進を図ること。

連携中枢都市圏

白山市を含めた4市2町が連携協約を締結し、石川中央都市圏ビジョンを策定したが、白山市の特徴を生かした取り組みを連携させること。

市街地のにぎわい創出

起業家支援補助事業及び創業者支援利子補給補助金制度の拡充を図ること。また、商店街空き店舗対策事業は新築に対しても検討すること。

第2次白山市総合計画

地域と向き合い、地元の人たちと一緒に考えていく専門チームを作るなど、議論を積み重ねていくための体制整備を検討すること。

全体を通して

多くの課題がある中で、地方創生につなげていくためにも、それぞれの地域に目を向け、何が求められているのかを知り、先を見据えた取り組みを行っていくことが重要。

議会活動あれこれ

救命救急の基礎を再確認

～救命救急講習会～



6月27日（月）に消防本部において、救命救急講習会を開催しました。

議会では以前にも救命救急講習会を開催していますが、覚えているようで覚えていません。心肺停止状態の方が倒れていた場合、実際にどうしたらよいか、講師のお話しと実演で徐々に思い出していきます。やはり、2年ごとにこういった機会を持つことが大切だと実感しました。

特に今回強調されていたことが、「心臓マッサージ」と「救急指令の人の指示を聞く」ということです。人工呼吸は難しいですが、とにかく心臓マッサージ

を救急車の到着まで続けてほしいということです。

また、携帯電話で119すると救急指令とつながるので、どうしたらよいか聞き、その指示に従ってほしいとのことです。慌てずに、救急車の到着まで指令本部にいる方の指示に従えば、手順を含めて教えてくれるとのことです。何かあれば、119するに限ります。

実際と訓練とはもちろん違いますが、備えあれば憂いなしといえます。こういった講習会には積極的に参加したいものです。



議会傍聴を
お待ちしております

本会議当日、市役所7階で受け付けていますのでお気軽にお越しください

8月30日（火）	10:00～	提案説明
9月6日（火）	10:00～	一般質問
9月7日（水）	10:00～	一般質問
9月21日（水）	15:00～	表決

広報広聴委員会

委員長：寺越 和洋 副委員長：宮岸 美苗
委員：山口 俊哉、安実 隆直、吉本 史宏、北嶋 章光

針金や糊、熱も使わない製本技術「エコプレスバインディング」を採用しています。

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行日／平成28年8月1日
発行／白山市議会
編集／広報広聴委員会

事務局／白山市議会事務局議事調査課
〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL：076(274)9580 FAX：076(274)8510
E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp ホームページ：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp



ゆきママとしずくちゃん